

会 議 報 告 書

件 名	令和５年度第５回八潮市学校教育審議会		
日 時	令和６年１月１０日（水） １５時００分～１７時００分	場 所	八幡公民館 多目的室２
出 席 者	八潮市学校教育審議会委員名簿のとおり（欠席：砂賀委員） 【事務局（教育委員会）】 井上教育長 猪原部長、高橋副部長、山内課長、柳町課長、和田係長、城山主任指導主事、中井主任指導主事、市野川主任、安類主事		

１ 開会

２ あいさつ 榎本会長

３ 会議録の承認

第４回の会議録について意見があるか確認をした。
→特に意見はなく、会議録の承認となった。

４ 議事

今回の議事は下記のとおり。

（１） 八潮市の教育について
資料に基づき事務局より説明

委員からの意見・議論内容は下記のとおり

（会長）

それでは事務局から説明があった内容について質問、感想、ご意見などを伺い、その後、先ほどのステップ表に基づき、校名案を５つ程度に本日の会議で絞って、その中から、子どもたちにアンケートを実施するという流れで、ご意見をお伺いしたいと思います。

それでは、初めに先程説明がありました内容について、何か質問、感想、ご意見などございますか。

前回会議の終わり頃に、副会長からたくさんの校名案がある中で事務局がいくつか候補を絞り、審議会で決めるのではなく、審議会の中で候補を絞り、校名案を決めるという方法で行うことになりました。そのため、校名の一覧を記載した資料をいただきましたが、こんなにたくさんの応募があったので、事前に資料をいただいて良かったと思います。

地名や地域に関わりのある名称を校名に考えているものや、小中一貫教育を進めるといった選定基準に則って考えられている校名がありました。

また、一票ずつしかありませんが、子どもが考えた校名なのではないかと思われるものがいくつも伺えました。いずれにしても、新設校に対する夢や希望がこの校名にした理由の中で感じる事ができて、皆さん色々な期待を持たれているなという気持ちをひしひしと感じました。

それでは校名案の決め方について、ご意見を伺っていきしたいと思います。決め方については、様々な考え方があると思います。初めに私の方からたたき台の一案をお示しして、

それについてご意見をいただきたいです。1つ案を示したほうが、検討しやすいと思うのですがいかがでしょうか。

うなずいている方が大勢おりますので、たたき台として案を1つお示しさせていただければと思います。

一番大事なことは選定基準だと思います。選定基準がないと、これだけの校名案の中で絞り込むことは難しいと思います。例えば、A小学校、B小学校など2つ程度、候補として良いかなと思うものを挙げます。委員の方にも同様にいくつか候補案を選んでいただきます。そして子どもや保護者、一般の方から事前にアンケートをもらう時も使用しました選定基準を用いて候補案に点数をつけていきます。

例えば、私がA小学校を選んだとして、まずA小学校について、選定基準の1を、例えば5点、3点、1点で、5点は「この選定基準を十分満足している」、3点は「普通で、まあ満足している」、1点は「5点と3点以外で、全く当てはまっていないのではないか」で点数をつけていきます。前半の文章は当てはまるが、後半の文章は当てはまっていないものとかで考えていき、5点と3点以外は1点とします。そうすると、A小学校について選定基準の(1)が5点、(2)も5点、(3)が1点、(4)が1点、(5)が3点、(6)が3点で点数をつけていきます。それを委員の皆さんにも同様にやっていただきます。もし一人で候補案を2校選ぶならなら2校分を今言った選定基準で何点か付けていきます。それを15人分、事務局が集計をして決めます。

今回候補案を出してもらう際は、無記名での投票としたいと思います。理由としては、委員の中には顔見知りの方もおり、例えば良いか悪いかわかりませんが、私が大曾根小の校長だった場合、挙手制で行うと、町会長さんが来ているから校長として手を挙げなくてはいけないなど付度が働く可能性があり、自分の気持ちをはっきり言いづらくなると思います。それぞれの立場で委員になられているので、委員一人一人の考えは大事にしたいですし、忌憚のないお考えを選定基準に点数化してもらって進めていくのが、皆さんの意見を伺ううえでは良いように感じます。

私が示した案についてはご理解いただけたでしょうか。今の話をたたき台にさせていただいて、決め方についての忌憚のないご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

口火を切るのは少し勇気が要るかとは思いますが、ご意見いただかないと、私が決めたみたいになりますので、どうぞご遠慮なくお願いします。

(委員)

今回「圀」という地名が一番多く票数を取っているように見えますが、現在の八潮市の10校の小学校の校名は住所から名前を決めている学校は比率でいうと圧倒的に少なく、その話は最初の会議の段階でお話させていただきました。以前校名を10個まとめて決める時期があったと思いますが、その時の委員会自体がどういう決め方で10個の校名を決めたのかということが、自分の中で疑問があります。

4小の大曾根小は、住所が圀なのに圀小学校ではありません。その場合、集計表②で意見が出ている全国で唯一の地名だとか、古き良き名前は残した方が良い、地名を使用する方が良い、という意見がたくさん書かれていますが、大曾根小の名前を決めた際に、なぜ大曾根小っていう名前で抵抗勢力が生まれなかったのかということが私の中で腑に落ちていません。

これだけ圀に対して意見があるのであれば、なぜその時に圀小学校にしなかったのだろうと思います。昔の校名の決め方を知ることによって、自分の点数のつけ方も変わってくるかなと思いましたので、分かる方がいらっしゃれば教えていただきたいです。

個人的な意見としては、民主主義に則っていき、校名集計表の1番から5番の校名をこ

の審議会としては選択した方が、民主主義的には良いと思います。

(会長)

誰か説明できる方はいらっしゃいますか。

(事務局)

前回の校名の決め方について、私が直接携わっていたわけではございませんが、改めて過去の資料を確認いたしました。以前、各学校は基本的にナンバースクールでした。1小から10小まであり、この校名を変えようとなった際に、当時の資料館長の方などから地名に対する抗議を受けて、勉強会等を行ったそうです。

そして各学校で内容を持ち帰り、現在でいう運営協議会のような場所で話し合いを行ったそうです。そこで、八條小と八條北小は、両方校名候補が八條小となり、一悶着があったということが記録に残っておりました。最終的には今の八條小のほうが古くからあったということから、八條小に八條という名前を残し、八條北小については八條小があるので八條北という校名にする、という話がありました。

大曽根小がなぜ圀にあるのに大曽根小という名前になったのかについては、平成の初期古くからの地名を知っている人や私自身も昔、仕事で土地関係の部署にいたこともあり、理由については知っておりますが、この土地は耕地改良をしており、耕地整理前の地名が大曽根でした。

ここは、学校ができた当時、大曽根という名前で、それから後に耕地整理で圀に名称が変わるという経緯があるとの話が、当時の審議会の中で出ていました。それを基に、ここは大曽根小という校名とすると記録には載っております。他の学校に大曽根小という名前がなかったことから、そのまま答申したという経緯がありました。

八潮という地名は、3村合併で八潮になったということは皆さんご存知かと思います。

八條小は当時の1小、潮止小は当時の2小、八幡小は当時の3小で、それぞれの3村の八條、潮止、八幡から由来しているとの話があります。旧の地名を使っていない八潮中は住所でいえば中央となりますが、そもそもは中学校が1つしかなかった時代があり、その中で八潮中といった名前が決まったとの話もあります。議会の中でもそういった旧の地名とかを参考にしたとの記録が残っていました。参考になるかはわかりませんが、ご報告させていただきます。

(委員)

正確ではないかもしれませんが、あの地域は、夕陽がきれいで、夕方、町が茜色に染まることから茜町となっていると考えられています。また区画整理の中で、茜町の名前を残したいと考えていたのが、前町会長の近藤さんであり、自分も茜町という地名を残したく、様々な運動をしてきました。

潮止中学校の周りにあるマンションは若い人が多く住んでいますが、その他の多くの家は高齢者が多い地域です。アパートが多く世帯数はかなり増えていますが、学校名について関心があるのかないのかは分かりません。

(会長)

他に校名の決め方について、ご意見などございますか。

(委員)

やはりサンプル数が多いので、絞り込むことは非常に難しいと思います。コンセプトが出ているものや地名に由来しているものなど、ある程度仕分けをして絞り込み、その中から決めるという方法がいいのではないかと思います。

例えば、まるっきり理念的な言葉だけで入っているもの、キラキラネームみたいなものもあります。逆にあの地域由来の名前にこだわっているものもあるので、このままだと絞りきれないような気がします。私としては、民主主義ですから、多数決が一番いいと思いますが、ある程度は絞り込んで考えた方がいいと思います。

そこで、ベクトルをはっきりさせたうえで検討する、といった考え方で決めるのはいかがでしょうか。

(委員)

皆さん事前に公募された校名案を見て、ある程度把握されて、それぞれの考え方はあると思います。例えば点数を付ける前に絞り込むとありますが、それであれば無記名でも良いと思います。名前を出さずに新設小学校の校名に相応しいという名前を5個、6個挙げて、その中から選定するといった方法です。そこから上位の5校を発表して、皆さんに点数をつけていただくという形はいかがでしょうか。

(委員)

いきなり、各人が校名を2個、3個を選んで点数つけるより、事前にいくつかのカテゴリごとに何個か校名案出してもらい、その中から点数化したほうが、決めやすいのではないかと考えます。他にご意見いかがでしょうか。皆様がどのようなお考えなのか伺いたいです。

(委員)

委員の意見は、参考です。

(委員)

私の個人的な意見ですが、選定基準が6個あり、結局この基準に合っているものを、自分で選ぶことなのだと思います。

この票数も大事とは思いますが、これが合っているなというものを、例えば1人3つ挙げていただいて、十何人の中で集計を行います。その中で上位、例えば10なら10でも構いませんが、そこで点数をつける、その決め方で考えないと多分決まらないと思います。皆さんが言う通り、圀や古新田は地名から由来しているとわかると思いますが、やはりこの基準を大事にしていきたいです。圀の219件というのはすごい数だとは思いますが、その他が200件というのが気になります。児童生徒たちが考えた校名も含めて皆さんで選定基準を軸に3つ、4つ候補を選ぶというのが、わかりやすく良いと思っています。

(会長)

現在2つの方向性の決め方が出ていて、1つ目が、各委員の人が2つか3つの校名候補を選定基準に合わせて選び、点数をつける方法と2つ目が、カテゴリ毎にいくつか校名候補を出して、それから一人一人がカテゴリ毎に点数化する方法があります。

(委員)

先程近藤副会長から話があり、私も気が付きましたが、校名集計表の内訳について、事務局に説明をお願いできませんか。

(事務局)

ご説明致します。その他の部分につきましては、児童生徒、保護者、教職員以外の市内在住、あるいは在勤の方となります。これは応募の要件がそうとなっております。以上でございます。

(会長)

ほかに決め方についてのご意見はございますか。

(委員)

カテゴリー別に分けて考える方法ですと圀だけでも10以上あり、そのカテゴリーがあまりにも大きすぎてしまうので、近藤さんがおっしゃっていた方法で良いと思います。一旦校名候補を出してみ、選定基準に当てはまっているかどうかというところをまたみんなで意見を出し合った方が良いのではなかと思います。

例えば圀川花桃小学校といった名前のように合体させることはないと思います。そうであれば、一旦私たちの考えている名前を出してみ、そこから選定基準の6項目に点数をつけ、校名としてふさわしいかどうかを検討します。新設小学校は地域に根付いた小学校を目指していきたいという意見が何回か会議で出ており、そういう人の気持ちを私は無視できないと感じました。

(会長)

まだ、ご発言されてない方は、なにか意見ありますでしょうか。

(委員)

私も近藤副会長のおっしゃっていたやり方が良いかなと思います。カテゴリーは二度手間になるように感じますし、選定基準を基に考えていくことが一番大切だと考えています。選定基準に沿って各委員が3つであれば、3つ選定し、そこから絞るのが効率良く決めることができると思っています。あと、ここにいる委員についてもそれぞれ学校関係者や保護者、地域の方などそれぞれがもうカテゴリーの代表できているようなところも考えると校名をカテゴリー分けする必要もないと感じます。

(会長)

他にご意見ありますでしょうか。

(委員)

私は先程の委員と同じ意見で、休み中に届いた資料を事前に目を通して、皆さん考えてきていらっしゃると思うので、私たちの中で候補を出していくのがいいのではないかと思います。

(委員)

副会長がおっしゃっているように、一人いくつか3点でも2点でも出していくやり方が良いと思います。前回の会議の最後に会長が宿題として資料を見て考えておいてくださいともおっしゃっていたので、そういう形の方が良いかなと思います。以上です。

(会長)

他にご意見ございますか。

(委員)

先ほど委員が言われた通り、カテゴライズすると、二度手間かなと思います。やはり皆さん事前に考えてきていると思うので、そこから候補を何個か選んで後で集計する方が良いと思います。

(会長)

委員さんから話があったように、宿題として内容を見てきている中で、決めてもいいのではというご意見が多いと思いますがそれでよろしいでしょうか。頷いている方が多いので、そのように捉えてよろしいでしょうか。

一人2校、3校など数は決めませんが、いくつかこの校名が良いのではというのを各自あげていただいて、選定基準の6項目について、5、3、1点で差をつけながらつける方法でよろしいでしょうか。

選定基準を基にして校名を決めることが、この会議で大事にしていることなので、一人一人の思いがあるとは思いますが、この方法できめていきたいと思います。

用紙がないと候補案が書けないと思うので、一人当たり2校であれば紙は2枚、3校であれば紙3枚に何々小学校と記載していただき、選定基準6項目について何点、何点、何点と点数をつけていただきます。それを全部集計し、点数の高いところから、5校程度子どもたちにアンケートを実施するというやり方でよろしいでしょうか。

(委員)

一了承ー

(会長)

では、事務局のほうで紙の準備をしていただけますでしょうか。

(事務局)

紙を用意しますので、少々お待ちください。

(会長)

その間に議事2になります、今後の方向性について進めていきたいと思います。

カラー版の事務局から説明があった3ページ、4ページの校章等の選定に係る方向性ということで、この会議では校名までを決定します。校章や校歌については、事務局の方で準備委員会を設置いただき、必要なことを決めていきます。このような方向性について、何か委員の皆様方から質問やご意見はありますでしょうか。

(委員)

校章やシンボルツリー等については、準備委員会で意見を聞きながら進めていただければ良いと思います。

(会長)

校長先生方からなにか意見はありますでしょうか。

(委員)

事務局案で良いと思います。

(委員)

私もそう思います。

(会長)

何か意見はありますでしょうか。

(委員)

校長はずっとその学校にいるわけではなく、人事異動があった場合はまた新しい方校長先生になるため、次の委員会で決めた方が新設小に対してふさわしい意見が聞けると思います。現在の審議会では校名までを決め、また新たな委員会を設置して今後に必要なものを決めていくことが良いと思います。以上です。

(会長)

頷いている方が非常に多くいらっしゃいますので、準備委員会の方で校章等については決めていただくといった事務局案で進めていただくことが良いと思います。今まで、この会議で新設校ではこういう教育を希望しているといったことや、こういう新設校になってほしい、子どもたちにこういう教育をしてもらいたいなど、様々なご意見が出たと思います。これで最終的には小中一貫教育、八潮の教育を推進してモデル校となるようにというご意見があったので、そのことを踏まえて、様々なことを決めていただければいいかなと思います。

それともう一つ校名とは別に、地域の方々の地名に対する思いが当然あるわけですが。実際にその地域から新設校に行く家族にしてみると、学校と保護者や地域が、風通しが良く連携をしながら新設校に必要なこと決めていくことも大切かなという気がします。この会議で出た意見を準備委員会の方々にも落とし込んでいただいて進めていただければと期待しております。方向性については合意をお願いします。

事務局が用紙を配布

(会長)

それでは事務局から説明をお願いしますでしょうか。

(事務局)

選定基準を記載した紙を配布させていただきました。先程、それぞれの項目で点数つけるという話がございましたので、手書きになってしまいますが、まず紙の右上に学校名を記載していただき、次に5点、3点、1点と得点を入れていただきます。そのとき学校名は3点ほど選んでいただき、記入をお願いいたします。

(会長)

3校程度といいましたが、決めにくいたため5校くらい選びたいという方はそれでも結構です。紙が3枚では足りないという方はいらっしゃいますか。

(委員)

はい。

(事務局)

お配りします。

(会長)

質問ありましたら、お願いします。

(委員)

これは一項目5点だったら30点満点という考え方でよろしいですか。項目ごとに点数を書いていくことでよろしいでしょうか。

(会長)

問題ありません。

(委員)

項目ごとの点数と合計点を記載した方が良いですか。

(会長)

そのほうが事務局は集計しやすいでしょうか。

(事務局)

どちらでも大丈夫です。

(会長)

まず校名を記載し、一項目ずつ得点化していただき、最後に合計点を記載いただくことでよろしいですか。

(副会長)

良いと思います。

(会長)

ありがとうございます。では、少し時間押してしまっておりますが、ご記入よろしくお願いします。

各委員記入

(会長)

そろそろ書き終わりましたでしょうか。事務局に集計していただき、それまで委員の皆様はお待ちいただくようお願いします。

それでは集計を待っている間に、次回会議についてお話いたします。次回会議ではアンケート結果を参考にこの会議で校名を決定します。募集要項の中では、アンケートの多い順に決めるという文言はありません。今回の校名を決定する中で、町会自治会の思いや子どもたちの思いを踏まえて考えてはいきますが、あくまで選定基準を基にきめていきます。

決め方については、今回と同じように、改めて、5校なら5校分、得点をつけてもらって、それを最終的に集計するというやり方でよろしいでしょうか。何かご意見があればお願いします。

(委員)

区画整理事業は本換地が終われば新しい町名がつきます。町名については昔、小作田と呼んでいたところは、住人が小作田という名前を嫌がって緑町になっていますし、現在の茜町も同じような意味で茜町と名前がついています。今回の公募で、茜というワードが結構入っていたと思います。新設小学校は区画整理地内にあり、区画整理が終わった後に、新町名新地番が付く可能性がすごく高いため、必ずしも校名に反映できるのかどうかは気になりました。

(委員)

そもそも八潮市自体が地番で校名をつけているわけではないということを事務局から聞きました。ここからは私の感想になってしまうのですが、どんな学校名だとしても校名が決まってしまうと、学区内の人はその学校に行くのだらうなとくらいしか思わないと思っていました。しかしこの審議会に参加し、地名や歴史など背負っているものが大きく、回を重ねるごとに非常に重みのある審議会であると感じます。

校名に関して一番負担が少ないものというのは、アンケートを取り、票の多い順に1番から5番までで名前を決めるというのが、審議会に参加している人たちも非常に負担が少ないと感じます。また、数的根拠ではなく、審議会を基準に、名前が決められるということについては、負担が大きいと思います。

(会長)

他に何かありますか。では、アンケートを取って次回この審議会として校名が決まります。教育委員会で検討した結果、他の校名になる可能性もあります。ただ、審議会で答申は作成し、教育委員会へ答申するので、重い内容にはなると思います。先ほど委員さんが言ったように聞けば聞くほど重い話になります。

(委員)

次に大曽根小、大瀬小、潮止中の児童生徒に校名について投票してもらおうと書いてあるのですが、どういう形のアンケートを取り、どういう資料になるのでしょうか。

(事務局)

お答えいたします。中身は同じですが、低学年、高学年、中学校とその学年にわかりやすい文言でアンケートを作成いたします。校名候補が5つ出れば、5つの校名をアンケートに掲載させていただいて、選定基準を基に投票してもらいます。選定基準の文言もその学年にわかりやすいように変え、校名についての理由付けも載せたうえで、1点投票していただく形で考えております。以上でございます。

(会長)

私たちがやっていることを子どもたちの発達段階に合わせて、アンケートを行うという認識です。

(委員)

審議会でも5点に絞ったとしたら、その中から子どもたちに1点選んで投票してもらい、その結果順位が決まるということでしょうか。

(委員)

アンケートの順位に関係なく、審議会決めていくということによろしいでしょうか。

(委員)

外部の方には投票を行わないのですね。

(事務局)

本日の資料の最後に記載させていただいておりますが、アンケートは電子申請で行い、学校のタブレットを使用して投票していただけたらと考えております。

(会長)

5校候補があったとして、選定基準や説明の資料を別途記載した上で、1点選んでいただき、集計するイメージでよろしいですか。

(委員)

最終的には、子どもたちが1校名前を選択するという形であれば、少し負担が楽になりました。

(委員)

ただ、子どもたちの投票が審議会の答申になるとは限らないです。例えば、5校のうち、90%の投票がある校名であれば、それはもう決まりという雰囲気になるかもしれませんが、25、24、23%であれば、もう一回、審議しなおすということになります。負担は減らないと思います。

(委員)

私は子どもたちが選んでくれること自体がすごく良いことと思っています。

(会長)

あくまでも子どもたちの意見は参考にして、この委員の方々に最終的に決めるということになると思います。子どもたちのアンケートの多い順で決めるとなると私たちの存在意義がなくなってしまいます。校名を決めることは難しいことなので、選定基準に基づいて点数化することが、一番透明性があると考えます。

それでは、結果が出たようなのでご確認ください。皆さんお手元に結果が渡りましたでしょうか。花桃、茜、圀、八潮のここまでが3桁の点数です。次が「かがやき」になると54点で八潮の半分になります。54点の「かがやき」まで入れて、5校にするとすると、圀未来が52点、そんなに差がなくて、48点の圀川も入れないといけなくなると思います。ご提案ですが、上から四つの校名を子どもたちに選んでもらうのはいかがでしょうか。

(委員)

一番上の「花桃」は漢字ですが、その下にひらがなの表記で「はなもも」というのがありますが、同じものとするのか、別のものと認識するのでしょうか。

(会長)

いかがでしょうか。

(副会長)

これは、漢字を選んで178点、ひらがなで24点ですから、別々のもので考えたほうが良いと思います。

(会長)

候補はどうしましょうか。上の3桁の4校、それとも5校、6校どれにしましょうか。

(委員)

圀というワードが地域に根付いており、例えば圀未来、圀川など圀を使った校名が結構出ていました。そう考えると、圀一つの漢字ではなく、この圀で三つほど選択肢を増やすというのもありえるのかなと考えました。

(会長)

資料では5校程度としているので、校名数はこの数字で考えるというのものもあるかと思いますがいかがでしょうか。

(委員)

八潮小というのは、候補として良いのですか。八潮中は、3校が統合されて1校になったため、八潮中となりました。八潮小学校となると統合した小学校なのかという誤解を生まれかねないかなと思いました。ただし、今回校名候補の選択肢の一つに入っていることから、投票が集まった場合はその校名となるのでしょうか。

(会長)

その通りです。

(委員)

理由付けとしては、八潮駅から一番近い小学校であるため、八潮小学校というのでも良いと思います。

(委員)

ただイメージとしては、統合のイメージが強いです。八潮小学校や八潮中学校という、八潮で一つのという意味にとらえられる気がします。

(会長)

理由の欄を見ると、選定基準の小中一貫教育といったところに当てはまっているという理由は記載されております。

さて、候補は何校にしましょうか。

(副会長)

実際、子どもたちがタブレットで答えるだけなので、選択肢は多い方がいいと思いますが、資料では5つ程度としているため、前後1くらいが良いと思います。しかし、得点を見ると54と110だと倍なので、そこで切るとして上位4つの中で子どもたちに選んでいただくのが良いと思いますが、いかがですか。

(委員)

賛成です。

(会長)

それでは、賛成の方が多数ということで上から4校をアンケートにかけるということにいたします。

大変長時間にわたって、ご審議ありがとうございました。なかなかうまく進行できなくて、申し訳ございませんでした。それでは、事務局にお返ししたいと思います。

5 その他

事務局より、下記の内容について伝えた。

- ・ 本日の会議内容について、教育委員会に報告すること
- ・ 本日の会議について、追加のご質問ご意見等を受け付けること
- ・ 次回の日程について

6 閉会 近藤副会長